



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 イーレックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9517 URL <https://www.erec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本名 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 安永 崇伸 TEL 03 (3243) 1167  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	58,674	76.7	3,161	168.3	2,143	39.4	1,675	101.1
2022年3月期第1四半期	33,213	78.7	1,178	△7.4	1,537	45.5	833	62.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5,251百万円 (277.6%) 2022年3月期第1四半期 1,390百万円 (77.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	28.33	28.29
2022年3月期第1四半期	14.13	14.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	162,288	70,727	36.7
2022年3月期	157,159	66,820	35.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 59,605百万円 2022年3月期 55,716百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,600	△10.8	14,900	19.2	14,700	6.8	8,000	△17.1	135.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	59,271,200株	2022年3月期	59,271,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	140,751株	2022年3月期	140,751株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	59,130,449株	2022年3月期1Q	58,975,340株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（補足説明資料について）

同日に当社ホームページ（<https://www.erec.co.jp/ir/>）に掲載いたします。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

「経営成績に関する説明」につきましては、当社ホームページの「決算補足説明資料」をご覧ください。  
(URL <https://www.erex.co.jp/ir/news/>)

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は70,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ658百万円増加いたしました。これは主に売掛金及び未収入金が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は92,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,470百万円増加いたしました。これは主に減価償却費の計上及びその他に含まれる出資金の減少があったものの、敷金及び保証金及びデリバティブ債権が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は162,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,128百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は39,232百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,722百万円減少いたしました。これは主に未払金、その他に含まれる未払消費税等及び未払法人税等の減少があったものの、買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は52,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,944百万円増加いたしました。これは主に社債の発行によるものであります。

この結果、負債合計は91,560百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,221百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は70,727百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,906百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払による利益剰余金の減少があったものの、繰延ヘッジ損益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は36.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月20日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、2022年5月20日に公表した業績予想は、同資料の発表日時点において当社グループが入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,157	37,130
売掛金	27,321	20,238
原材料及び貯蔵品	1,691	1,304
関係会社短期貸付金	4,059	4,522
未収入金	5,192	3,161
未収消費税等	2,095	1,970
その他	1,933	1,781
流動資産合計	69,450	70,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,164	10,958
機械装置及び運搬具（純額）	48,062	47,301
土地	747	747
建設仮勘定	681	624
その他（純額）	177	165
有形固定資産合計	60,832	59,798
無形固定資産		
のれん	2,934	2,874
その他	1,722	1,649
無形固定資産合計	4,656	4,523
投資その他の資産		
投資有価証券	2,554	2,699
関係会社株式	2,670	2,855
繰延税金資産	995	1,152
長期前払費用	767	765
敷金及び保証金	4,932	7,285
デリバティブ債権	7,292	11,477
その他	3,412	2,017
貸倒引当金	△405	△396
投資その他の資産合計	22,219	27,856
固定資産合計	87,708	92,178
資産合計	157,159	162,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,155	16,780
短期借入金	8,840	8,840
1年内返済予定の長期借入金	5,325	5,501
未払金	3,519	2,293
未払法人税等	2,772	998
賞与引当金	149	84
その他	6,192	4,734
流動負債合計	42,955	39,232
固定負債		
社債	—	5,000
長期借入金	39,426	38,491
退職給付に係る負債	198	212
資産除去債務	4,618	4,622
繰延税金負債	2,344	3,288
役員報酬BIP信託引当金	123	—
デリバティブ債務	407	325
その他	263	387
固定負債合計	47,382	52,327
負債合計	90,338	91,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,242	11,242
資本剰余金	10,238	10,016
利益剰余金	28,487	28,858
自己株式	△124	△124
株主資本合計	49,844	49,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△171	△39
繰延ヘッジ損益	5,844	9,195
為替換算調整勘定	198	455
その他の包括利益累計額合計	5,871	9,611
非支配株主持分	11,104	11,122
純資産合計	66,820	70,727
負債純資産合計	157,159	162,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	33,213	58,674
売上原価	29,913	52,851
売上総利益	3,300	5,823
販売費及び一般管理費	2,122	2,662
営業利益	1,178	3,161
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	20	26
デリバティブ評価益	357	—
為替差益	—	1,117
持分法による投資利益	112	99
その他	10	7
営業外収益合計	504	1,256
営業外費用		
支払利息	112	112
支払手数料	4	32
デリバティブ損失	—	2,130
その他	28	0
営業外費用合計	144	2,274
経常利益	1,537	2,143
税金等調整前四半期純利益	1,537	2,143
法人税、住民税及び事業税	506	833
法人税等調整額	△33	△181
法人税等合計	472	651
四半期純利益	1,064	1,492
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	231	△183
親会社株主に帰属する四半期純利益	833	1,675

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,064	1,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	132
繰延ヘッジ損益	277	3,371
為替換算調整勘定	11	204
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	51
その他の包括利益合計	326	3,758
四半期包括利益	1,390	5,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,177	5,415
非支配株主に係る四半期包括利益	213	△164



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

この変更による当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。